

Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

本社 / 〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892

東京本部 / 〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目24番1号
第一パークビル4階
TEL 03-6441-2900 FAX 03-6441-2920

<https://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本 社
廃棄物リサイクル



アースサポート株式会社は
島根スサノオマジックを応援しています。

S
U
S
T
A
I
N
A
B
I
L
I
T
Y
R
E
P
O
R
T
2
0
2
1



Earth Support Corporation



Sustainability Report

サステナビリティレポート2021

2021

ア
ー
ス
サ
ポ
ー
ト
株
式
会
社

アースサポート株式会社

EARTH SUPPORT

すべてはお客様に
安心して快適な環境を
提供するために。



CONTENTS

- 03 会社概要
- 05 トップメッセージ
- 06 トピックス
- 10 マテリアルバランス
- 11 1 あらゆる人々の活躍の推進
 - 1 貧困をなくそう
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 5 ジェンダー平等を実現しよう
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 10 人や国の不平等をなくそう
- 17 2 地域活性化
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
- 19 3 持続可能で強靱なまちづくり
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
- 20 4 省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
- 27 5 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 14 海の豊かさを守ろう
- 30 編集後記

SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)

[持続可能な開発目標]

当社はISO26000に対応するCSR活動を行うとともに、国際社会全体の開発目標として2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17項目の「持続可能な開発目標」の実現に寄与する企業活動に全社を挙げて取り組んでいます。今年度のサステナビリティレポートは、これらの開発目標に関わる当社の取り組みについて、それぞれのマークを記載してご紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



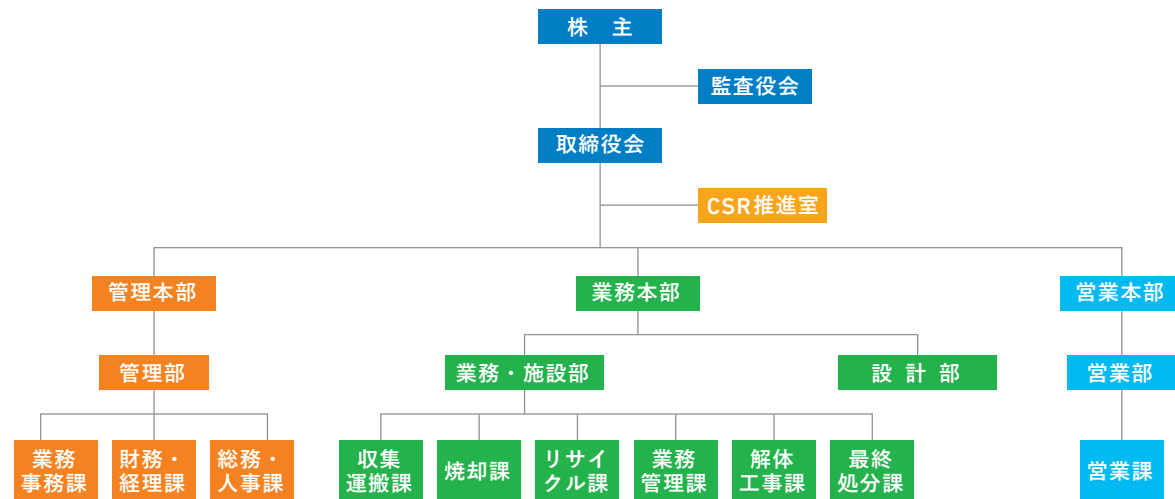
会社概要

対象期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

対象組織

名称	アースサポート株式会社	設立	昭和38年2月4日
所在地	島根県松江市八幡町882番地2	資本金	5,000万円
代表者	代表取締役 尾崎 俊也	従業員数	143名(令和3年3月31日現在)

組織体制



環境方針

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心して快適な環境を提供する。

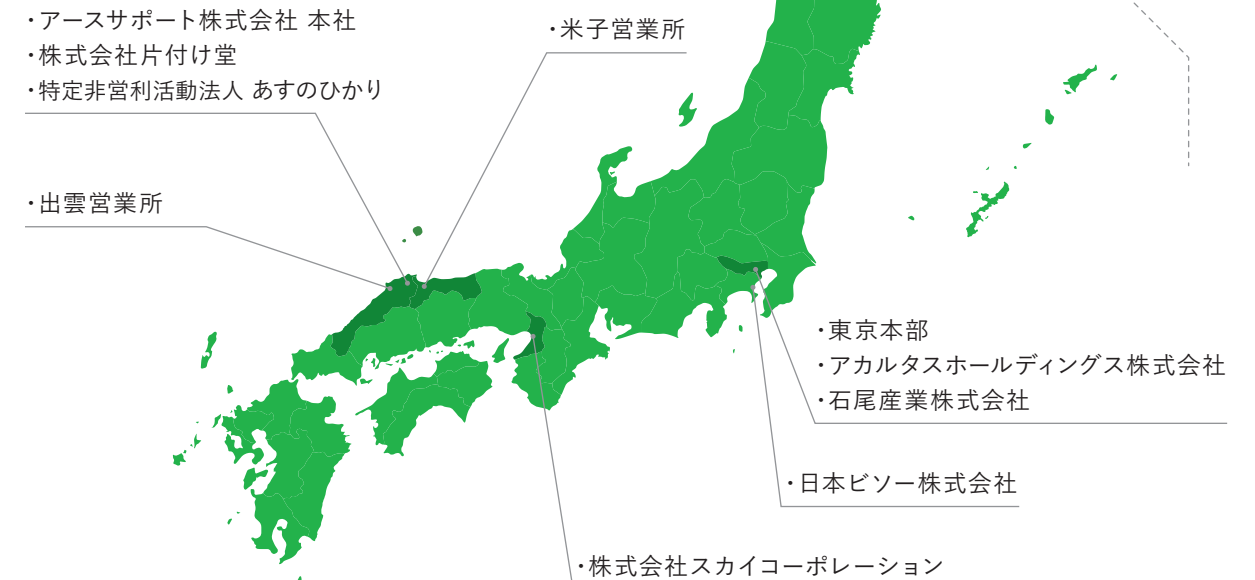
【環境方針】

- ① 環境目標を定め、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な改善活動を行います。
- ② 持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を取り入れ、省エネルギー、廃棄物のリサイクル及び減容化に努め、地球環境保全及び汚染の予防に貢献します。
- ③ 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、適正かつ安全な廃棄物の収集運搬、処分及び最終処分を一貫して行います。
- ④ 社員の環境保全意識の向上を図り、社員が誇りを持てる会社であり続けます。
- ⑤ 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥ 環境方針は、一般に開示します。

令和3年5月1日

代表取締役 尾崎 俊也

グループ会社



関連会社



アカルタスホールディングス株式会社
 所在地:東京都中央区銀座1-24-1
 銀一パークビル4階
 代表者:代表取締役 尾崎俊也
 事業内容:グループ全体の経営戦略策定



石尾産業株式会社
 所在地:東京都府中市住吉町2丁目
 12番地の4-102
 代表者:代表取締役 市村将志
 事業内容:一般および産業廃棄物収集運搬



株式会社スカイコーポレーション
 所在地:大阪府大阪市中央区南新町1-2-4
 樺本ビル503号
 代表者:代表取締役 坂東伸剛
 事業内容:プラスチック原材料・製品の仕入販売及び輸出入



株式会社片付け堂
 所在地:島根県松江市西津田3丁目1-12
 代表者:代表取締役 坂本貴志
 事業内容:不用品回収サービスのフランチャイズ事業



日本ビソー株式会社
 所在地:神奈川県横浜市神奈川区入江2-18
 代表者:代表取締役 市村純一
 事業内容:廃棄物の収集運搬、解体工事業



特定非営利活動法人 あすのひかり
 所在地:島根県松江市八幡町793番地4
 代表者:理事長 尾崎恵美
 事業内容:障がい者の就労支援

資源循環事業を通じて地球環境の保全に貢献するとともに、
不用品回収事業を全国展開することで
高齢化社会の課題解決に寄与する。
様々な社会問題に対し、事業によってその解決を図る
「ソーシャル・アントレプレナー(社会起業家)」を目指し、
より良い社会の構築のために積極的に活動する。

代表取締役 尾崎 俊也



平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) の17の目標のうち、弊社が日々の経営に向き合う際に大切にしています様々な活動をまとめた、『サステナビリティレポート2021』を発行させていただくにあたり、関係各位に多くのご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■ 1年以上続くコロナ禍とその対応

新型コロナウイルスの脅威を多くの日本国民が最初に感じたのは、2020年2月に発生したダイヤモンドプリンセス号に関する報道からだったのではないのでしょうか。その後、国内でも多くの感染者が確認され、この1年半の間に3回もの緊急事態宣言が発令されました。今後はワクチン接種が全国的に進み、多くの国民が1日も早く以前の暮らしを取り戻すことを心から願っています。

弊社では、事務所入口等でのアルコール消毒や体温確認の徹底、収集作業時を含むマスクの着用徹底等を行い、新型コロナウイルスの感染予防に努めて参りました。事務職員に

ついては、テレワークの積極導入や受付窓口へのアクリルボード設置等の対応を速やかに実施いたしました。こうして社内の感染リスクをできるだけ低減しつつ、“エッセンシャルワーカー”として強い責任感と誇りを持ち、家庭から出されるごみ回収事業や医療機関から排出される医療系産業廃棄物の収集運搬・処理作業等を1日も止めてはならないという気持ちで取り組んでいます。

■ 「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて

障がいのある方々と社会とのつながりを大切にし、そして経済的にも自立した社会生活を確立していくことを目指して、就労支援事業「NPO法人あすのひかり」を立ち上げ、今年で10年になります。現在は新型コロナウイルスの関係で社会弱者の雇用環境が非常に厳しい状況ではありますが、弊社ではSDGsの「誰一人取り残さない (leave no one behind)」という理念に共感し、NPO法人あすのひかりと協力しながら雇用を維持・拡大していきたいと考えています。NPO法人あすのひかりのマークにもあるように、私たちの活動が大地に根を張る草木のように、少しずつでも太い幹に育てていきたいと願っています。

■ 持続可能な社会の実現を目指す

弊社は廃棄物処理・リサイクル事業を行っている会社であるため、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、且つ私たちが積極的に環境活動を行うことが社会に対してプラスの影響を与え得るということも理解しなければならぬと考えています。この度、グループ会社の松江クリーン株式会社を2021年3月1日付で吸収合併したのも、産業廃棄物の収集運搬・中間処理およびリサイクル、そして最終処分まで一貫処理ができる体制を構築することによって、少しでも持続可能な社会の実現に寄与したいと考えたからでした。

このような思いを一冊にまとめたものが、今回作成しました『サステナビリティレポート2021』です。私たちは、お客様、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いをお客様や社員、地域の皆様と交わした「約束」と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

TOPICS



① 松江クリーン株式会社との合併

令和3年3月1日付けで当社はグループ会社の松江クリーン株式会社を吸収合併し、当社が存続会社として松江クリーン株式会社の事業のすべてを引き継ぎました。

松江クリーン株式会社は、松江市西忌部町に安定型最終処分場を所有し、廃棄物処理と解体工事を主な事業としてきました。このたびの吸収合併により、当社は廃棄物の収集運搬から中間処理、安定型最終処分まで一貫処理できる体制を構築いたしました。また、当社と松江クリーン双方で行ってきた解体事業についても集約し、一元的な業務運営が可能になりました。今後はより幅広くサービス展開を行っていきたく考えています。



▲ 当社の社長尾崎と松江クリーン(株) 牧野前社長 (写真右)



▲ 松江クリーン最終処分場入口看板



松江クリーン最終処分場 (安定型最終処分場) の概要

- 処理能力 埋立面積：9,45.4㎡
埋立容量：111,514.4㎡
- 処理品目 廃プラスチック類、金属くず、ゴムくず、ガラス及び陶磁器くず、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物を除く)

② 汚泥脱水施設の竣工

令和3年3月、固定式の汚泥脱水施設を竣工いたしました。

この度導入した施設は、汚泥の性状に合わせて凝集剤やpH調整剤を自動で調合した後、スクリープレス方式で汚泥を脱水する施設です。脱水後の汚泥の含水率は40～60%と非常に低いため、これまで以上の減容化が期待できます。また、運転が全自動になったことで作業効率も向上しました。

約140㎡の汚泥を保管することができる汚泥貯留槽も併設しており、今まで以上に多くの汚泥処理が可能となりました。



汚泥脱水施設（固定式）の概要
処理能力：5.55㎡/時間 133.2㎡/日 24時間稼働



▲ 併設の汚泥槽

③ 環境 人づくり企業大賞2020 優秀賞受賞

環境省、環境人材育成コンソーシアム（EcoLeaD）が主催する「環境 人づくり企業大賞2020」中小企業部門において優秀賞を受賞しました。本表彰は、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づき、環境に配慮した企業等活動をリードする人材を育成して輩出し、その活動をバックアップする企業を表彰するものです。

受賞のポイントは『地域の美化活動や出前学校、セミナーなど地域への環境意識の向上に貢献している。社員の意識向上も工夫されており、お褒めの言葉表彰、SNSの「ありがとう発信」など熱心に取り組んでいる。』とのことでした。当社は今後も、持続可能な社会の実現に向けより一層強い責任感と誇りを持って業務に携わる「人づくり」に注力していきます。



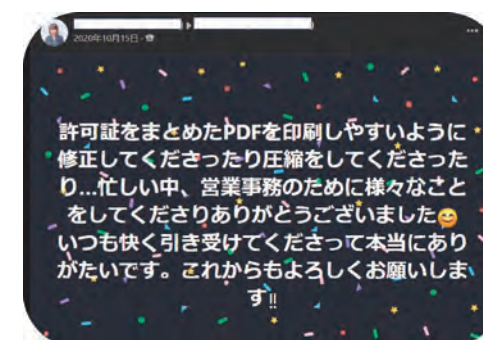
▲ 出前授業（環境教育）



▲ 地域の美化活動



▲ オンラインセミナー



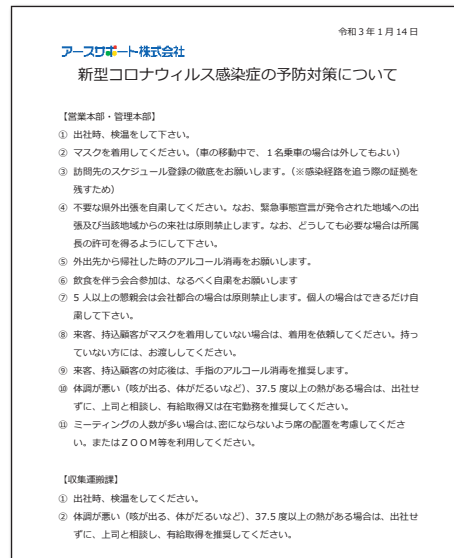
▲ SNSの「ありがとう発信」

④ 新型コロナウイルス感染症への取組

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま及び関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当社では、社内外への感染拡大防止と従業員ならびにその家族の安全確保を最優先に、手洗いや消毒、3密の回避などの基本的な感染予防の徹底と、テレワークの推進などの対策に努めてまいりました。これらの感染対策については、毎月の安全衛生委員会で随時内容を協議し、従業員へ注意事項や変更事項を伝達しています。

引き続き、社会インフラの重要な任務を担っている「エッセンシャルワーカー」として、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に努めて参ります。



廃棄物お持ち込みのシステムが変わりました

廃棄物お持ち込み時の感染拡大防止（受付の混雑解消、事務所内の3密防止対策）のため、次のシステムを導入いたしました。

● 整理券発行機を利用した持込の受付を開始

持込に来られたお客様は、これまでカウンターにいる受付担当者へ声をかけていただく形で受付をしておりましたが、このたび整理券発行機を利用した受付方法を導入しました。タブレット端末の操作にて整理券を発行していただき、整理券記載の番号順でお呼びします。多い時には6名で対応していた受付業務が、2～3名体制で実施できるようになりました。



● インターネット予約受付の開始

お持ち込みのインターネット予約サービスを開始しました。お客様のパソコンやスマートフォンから、ご希望の日程を予約できるサービスとなっております。事前にお持ち込みの予約をされたお客様は、あらかじめ契約内容の確認ができることから、優先して対応させていただいており、お待ちいただく時間の短縮にも繋がっています。令和2年9月の導入以降、予約率は約20%から令和3年3月末時点で40%にアップしました。

「新型コロナウイルス対策支援金」の支給

新型コロナウイルスの感染が拡大している中で、私たちの仕事の重要性が今まで以上に目立つようになりました。そのような状況の中、事業継続に携わっている社員への慰労として、当社では、廃棄物収集運搬・処理事業に関わる現場職員、事務職員、パート職員、嘱託職員に対し「新型コロナウイルス対策支援金」を支給しました。



マテリアルバランス



令和2年4月～令和3年3月までの実績

1

あらゆる人々の活躍の推進



社員が安心して働ける職場づくりを推進していくことは、企業の重要な責任の一つです。当社では、従業員が心身ともに健康で働きがいをもって活躍できる企業を目指し、さまざまな取り組みを実践しています。

1. 働きやすい職場づくり

当社では、法律で定められている基準を上回る諸制度の整備により、社員が継続して働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。

① 在宅勤務の推進

結婚・出産・育児・介護など、社員のライフステージに沿って働き方を調整できるよう、以前より当社では在宅勤務導入の検討を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年より本格的に導入を進めました。必要機器やネット回線、ファイル共有ソフトの環境整備、在宅勤務手当の支給も行っています。

② 有給休暇制度の多様化

社員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、年次有給休暇の取得を推進しています。より柔軟に年次有給休暇を取得できるよう、1日単位、半日単位だけでなく1時間単位で有給休暇の取得が行える制度を導入しています。

③ 短時間勤務制度の延長

育児・介護休業法により、3歳に満たない子を育てている場合、原則1日6時間の短時間勤務ができる制度を定めるよう、義務付けられています。当社では、この制度を利用できる子の年齢を「小学校3年生まで」と延長し、幼少期の子供と触れ合う時間を多く取れるような環境づくりを行っています。

④ 看護・介護のための支援制度

子の看護や身内の介護の理由で仕事を休まなければならない従業員に対し、育児・介護休業法では看護・介護休暇共に1年度において5日（対象が2人以上の場合は10日）の休暇制度を定めるよう義務付けています。この取得可能日数を当社では7日（対象が2人以上の場合は12日）に拡大をしています。また、有給か無給かは会社を選択肢が委ねられていますが、当社ではすべて有給で、時間単位で利用できます。

2. 奨学金返済支援手当制度の新設

近年、大学等への高等教育機関への進学率が増加する一方、高騰する学費に奨学金の貸与規模は年々拡大傾向にあります。同時に、卒業後の返済に苦慮している若者が増えているのも現状です。そういった状況を鑑み令和2年4月より、「奨学金返済支援手当」制度を新設しました。新卒・中途入社関係なく、正社員・パートタイマーすべての方が対象となり、月額最大15,000円を支給します。対象期間は返済が完了するまで、又は退職までとなっています。

3. 女性活躍の推進

女性が活躍できる職場環境であるとともに、男女の別なく従業員がその能力を十分に発揮できるようしっかりとフォローできるような組織作りは、社会的にもそして当社が今後、より成長していくためにも非常に重要なことだと感じています。

女性雇用率や役職者の女性労働者の割合数字が昨年より減少しておりますが、委託を受けていた業務終了による契約満了や松江クリーンとの合併による男性職員増員の影響のためであり、実質は昨年と比較してほぼ横ばいとなっております。

また、指導的地位に占める女性の割合は、目標数値である30%には届いていませんが、次期管理職候補の育成を行っています。

女性雇用率

	男 (人)	女 (人)	合計 (人)	女性雇用率 (昨対比)
取締役	5	1	6	17%(0%)
現場職	86	4	90	4%(↓4%)
事務職	21	32	53	60%(0%)
合計	112	37	149	25%(↓2%)

勤続年数

	男性 平均	女性 平均	昨年度データ (男)	昨年度データ (女)
現場職	10.5年	5年	8.5年 (↑2.0年)	1.1年 (↑3.9年)
事務職	8.7年	5.7年	7.5年 (↑1.2年)	5.5年 (↑0.2年)

女性役職率

	男 (人)	女 (人)	女性役職率 (昨対比)
現場職	25/86	0/4	0%(0%)
事務職	16/21	14/32	43%(↓1%)

指導的地位に占める女性の割合

	男(人)	女(人)	指導的地位に占める 女性の割合(昨対比)
課長以上の 役職者	12	2	14%(↓8%)

4. 報奨制度

社員のモチベーション向上を図るため、当社ではあらゆる表彰制度を設けています。

項目	対象	内容
年間MVP賞	全社員	1年間で、アースサポートに新たな価値を生み出した取組を行った職員またはチームへの報奨。得点順に2位(アースサポーター賞)、3位(グッドジョブ賞)、審査委員特別賞の表彰もあります。
個人賞	全社員	1年間で、各部署ごとに選出された功労者に贈られる報奨。社員による投票で選出されます。(看板賞、ムードメーカーで賞、プロフェッショナルで賞、新人賞)
ベストサンクス賞	全社員	社内SNSの「ありがとうを送信」という機能を使用し、日頃の業務の中で職員同士感謝の気持ちを送ります。四半期毎に“ありがとう”をもらった各部門第1位の方を「ベストサンクス」として表彰します。
お褒めの言葉賞	業務本部	お客様より「お褒めの言葉」をもらった職員への報奨。
作業改善報奨制度	業務本部	よりよい作業改善についての提案を行った職員に対しての報奨。コスト削減効果、生産性、安全度等から評価します。
A重油 ランキング賞	焼却課	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員へ表彰を行います。



▲ 社長から表彰を受ける職員

5. 健康診断項目の拡張

労働安全衛生法に基づき、社員の健康診断を年1回行っています。健康診断の項目について、35歳以上の社員には胃の検査をオプションとして追加しており、35歳以上の女性職員には、希望者に子宮頸がん検診・乳がん検診を受診していただいています。

6. 研修と資格

廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」によりさまざまな種類に分類されますが、複雑で判断が難しい分野です。また、性状も様々なため、処理に当たっても知識や技術が要求されます。当社では社員一人一人が廃棄物のプロフェッショナルとして通用する人材となれるよう、定期的に社内勉強会を開催したり、外部講習会に参加させるなどして、社員教育・人材育成に力を入れています。資格についても業務に必要な資格はもちろん、会社が推奨する資格は受講料を会社で負担し、社員のスキルアップを図っています。



▲ 重機のメンテナンスや安全衛生について講習を受けている様子

● 資格者リスト

車両・作業・重機関係	人数
大型自動車免許	35
クレーン運転の業務の特別教育修了者	14
フォークリフト運転技能講習修了者	44
アーク溶接等業務特別教育修了者	21
ガス溶接技能講習修了者	20
フルハーネス型墜落制止用器具使用作業特別教育	33
運行管理者	1
はい作業主任者	4
刈払機取扱作業安全衛生教育	4
玉掛業務技能講習修了者	33
玉掛業務特別教育修了者	11
研削といしの取替え又試運転の業務特別教育修了者	8
自由研削用といしの取替え等業務に係る特別教育	13
高所作業車運転技能講習修了者(10m以上)修了者	7
高所作業車特別教育修了者(10m未満)修了者	8
酸欠危険作業特別教育修了者	2
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	8
車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了者	21
車両系建設機械(解体用)運転技能特例講習修了者	17
車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習修了者	38
車両系建設機械(整地・運搬・積込用)運転業務従事者安全衛生教育修了書	2
小型車両系建設機械<整地等>の運転特別教育修了者	23
小型移動式クレーン運転業務技能講習修了者	28
小型移動式クレーン運転業務特別教育修了者	8
床上操作式クレーン運転業務技能講習修了者	1
床上操作式クレーン運転業務特別教育修了者	14
振動工具取扱作業安全衛生教育修了者	1
石綿使用建築物等解体特別教育修了者	3
石綿取扱い作業従事者特別教育修了者	7
足場組立て等作業主任者技能講習修了者	2
足場組立て等特別教育修了者	7
低圧電気取扱業務特別教育	7
特定化学物質等作業主任者	1
有機溶剤作業主任者	2
不整地運搬車運転技能講習修了者	1
粉じん作業特別教育修了者	2

廃棄物関係	人数
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習会終了者	1
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集処分量の許可に関する講習会終了者	1
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了者	1
特別管理産業廃棄物管理責任者	2
産業廃棄物焼却施設技術管理者	3
破碎・リサイクル施設技術管理士	1
ごみ処理施設技術管理士	2
環境管理士	1
環境計量士(濃度関係)	1
廃棄物焼却施設におけるダイオキシソ類対策に係る作業指揮者養成研修修了者	1
廃棄物焼却施設に関する業務特別教育修了者	5
PCB調査士	1

安全衛生関係	人数
KYTトレーナー	5
安全衛生教育修了者(職長等の教育修了者)	3
安全管理者選任時研修修了者	1
応急手当普及員認定者	1
雇入れ時安全衛生教育	1
職長・安全衛生責任者教育修了者	18
普通救命講習修了者	10
労働安全衛生法による特別教育修了者	2

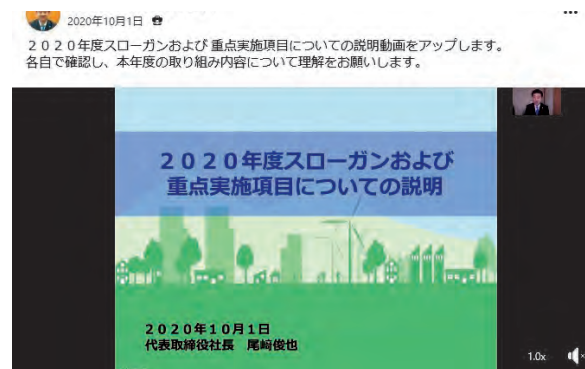
その他	人数
化学物質管理者	1
危険物(乙)1種	2
危険物(乙)2種	1
危険物(乙)3種	1
危険物(乙)4種	8
危険物(乙)5種	1
危険物(乙)6種	1
危険物(丙)	1
第一種衛生管理者	1
特定自主検査者	1
二級ボイラー技士	1

令和3年3月末現在

7. 社内SNSの導入

今年度より、ビジネス向けのSNSツールを導入しました。個人やグループでやり取りができるチャットのビデオ機能を活用し、在宅勤務中でも会議やミーティングを行うことが可能になったほか、動画配信による研修の受講や、これまで冊子で配布していた社内規程等の閲覧も個々のPCやスマートフォン上で可能となりました。

社員同士のスムーズな情報共有やコミュニケーションの活性化により大幅な業務効率化に繋がっています。



▲ SNSのビデオ機能を活用した動画配信

8. 新卒採用活動

当社では毎年新卒採用活動に力を入れており、継続的に新卒の学生を採用しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面での採用活動が難しい状況ではありましたが、web会社説明会への参加やオンラインインターンシップを実施しました。

令和2年度オンラインインターンシップ実施状況

実施日	参加者
令和2年8月26日(1DAY)	4名
令和2年9月4日(1DAY)	7名
合計	11名



▲ WEB会社説明会

9. NPO法人あすのひかりとの協同労働支援

SDGsでは、「誰一人取り残さないこと」を基本理念に掲げています。企業にも様々なステークホルダーと連携し、SDGsの実現に向けた積極的な取り組みを実施することで、目標達成に貢献することが期待されています。

当社の関連企業である「NPO法人あすのひかり」は、障がいがある方も働きがいを実感しながら活躍できる場を提供することを目指して平成23年11月に設立し、今年で10年を迎えました。当社では、常時18人の障がい者の方に、リサイクルの選別作業や事務所の清掃等様々な業務で力を発揮していただいています。



10. 労働安全への取り組み

当社では、安全衛生基本方針を打ち出すとともに、安全衛生委員会を設置し、委員会を中心に安全な職場環境の維持管理及び労働災害の防止に努めております。

<安全パトロール>

毎月1回、現場の各担当者が場内を回り、安全面で問題のある箇所はないか、改善が必要な箇所はないかチェックを行っています。指摘された改善箇所については、担当部署が改善を行い、報告を行うルールになっています。



▲ 安全パトロールの様子

<交通事故の防止>

収集運搬課では、交通事故の防止に向け、自動車安全運転講習、運転適性検査の実施やドライブレコーダーの活用など、安全運転意識を高める活動を行っています。

また、出勤時と帰社時には点呼を実施し体調の確認、アルコールチェック、車両異常報告等の管理を徹底しています。



▲ 運転技能講習の様子



▲ 点呼中の様子

<防災訓練>

毎年10月に、緊急時対応マニュアルに従って、防災訓練を実施しています。

10月16日に、選別施設にて火災が発生した想定で訓練を実施し、火災発生現場から事務所への無線連絡、避難誘導指示、消火活動、状況確認といった手順の確認を行いました。

火災は身近に起こりうる災害や事故です。定期的な防災訓練を通して、防災意識の向上を図り、万が一の災害発生時の対応に備えていきます。



2

地域活性化

[持続可能な開発目標]



地域社会に密着した事業を営む当社にとって、地域社会との共生は重要な使命です。地域の活性化や課題解決、コミュニケーション強化を通じて、地域社会との信頼関係を構築し、地域社会とともに持続的な発展を目指していきたくと考えています。

1. 地元小学校への図書寄贈

平成17年から始めた竹矢小学校への図書寄贈も、今年度で16回目となりました。校長先生からは、「コロナウイルスの現在の状況で今年度も寄贈いただき大変ありがたいです。」とお言葉をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、密な状態を避けた授業になっていることで子供たちにとっては少し寂しい状況となっているとのことでしたが、図書寄贈を通して少しでも地元の子供たちの役に立てたら幸いです。今後も、継続した地域貢献活動を行って参ります。

● 図書リスト

1	たのしい調べ学習シリーズ4巻セット SDGsと地球環境を考える	PHP 研究所
2	そだてるやさい おおきな写真でよくわかる！さいばいとかんさつのコツ	岩崎書店
3	ホントに食べる？ 世界をすくう虫のすべて	文研出版
4	ゴミにすむ魚たち	講談社
5	世界の鉱物・岩石・化石・貝大図鑑 美しいカラー写真1000点	スタジオタッククリエイティブ
6	知ろう！減らそう！食品ロス 全3巻	小峰書店
7	しりたいな全国のまちづくり 全3巻	かもがわ出版
8	プラスチック星にはなりたくない！	ひさかたチャイルド
9	なぜなぜ？かいけつルーペくん おうちのふしぎをさがせ！	パイインターナショナル
10	絵解き図鑑 こんなふうには作られる！	玉川大学出版部
11	お笑いコミュニケーション 全3巻	教育画劇
12	いきもの漢字図	あすなろ書房
13	九九パーフェクトゲームブック 1~4巻	大日本図書
14	もしも地球がひとつのリンゴだったら	小峰書店
15	かなへび	福音館書店



▲ 目録贈呈の様子



▲ 寄贈した図書

2. 地元見学会

令和2年7月19日（日）、「地元自治会様見学会」を開催しました。平成12年に締結させていただきました地元自治会様との「環境に関する協定」に基づき、年1回程度開催しており、今回で28回目を迎えました。また、今年でこの会の開催も20年となり、永きにわたりお世話になった皆様に大変感謝しております。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大防止ならびに、お越しいただいた皆様の安全確保のため、第1部の説明会の会場を2つに分け、2つの会場をオンラインで繋ぎソーシャルディスタンスを確保しました。その後は工場内の見学をしていただきながら、廃棄物の処理方法や施設について説明させていただきました。

今後も見学会等を通じて、徹底した情報公開や、地域の環境活動へ積極的に参加してまいります。



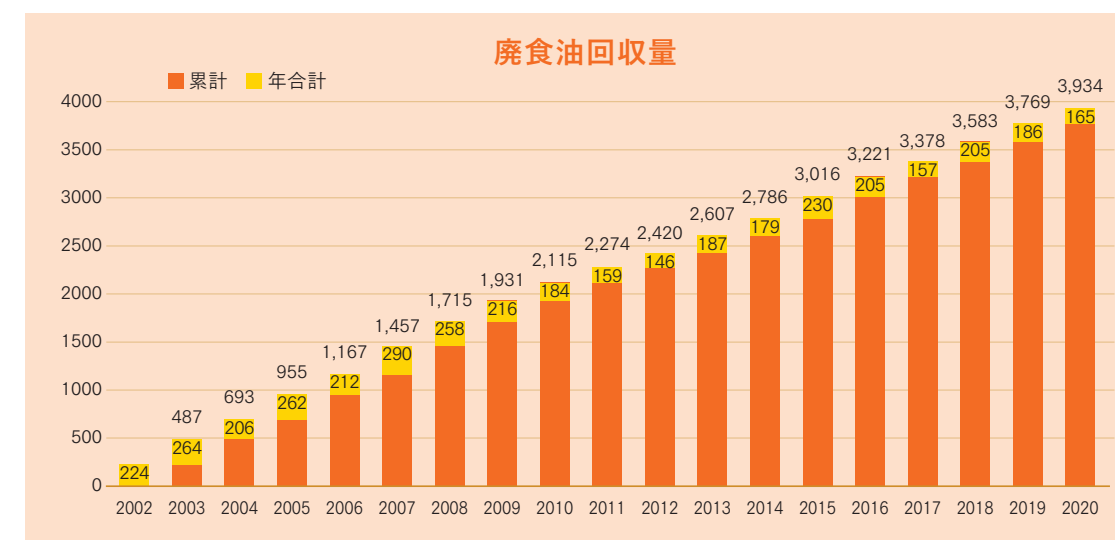
▲ 第1部の説明会



▲ 第2部の工場見学

3. 廃食油リサイクル

地元自治会様の各家庭から排出される廃食油を回収し、軽油代替燃料（バイオディーゼル燃料）にリサイクルする事業を、平成14年10月より進めています。リサイクルした燃料は、当社の重機や場内の燃料として利用しています。地域の皆様のご協力により、令和2年度は165リットル、累計で3,934リットルの廃食油をリサイクルさせていただきました。



3

持続可能で強靱なまちづくり

[持続可能な開発目標]



人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市においては、地域の活力を維持するとともに、生活機能を確保し、高齢者をはじめとする住民が安心して暮らせるまちの実現を目指す必要があります。

1. 片付け堂

「ゴミ出しが困難」、「遺品整理」等の問題は高齢化が進む日本においては深刻な社会問題となっています。一方で、不用品回収業は、管轄行政から許可を受けた業者でなければ引取をすることはできないにもかかわらず「無許可業者」による回収・処分、不明瞭な料金体系によるトラブルや不適正処理による環境汚染などは後を絶ちません。

当社は、個人向け不用品回収サービス『片付け堂』のフランチャイズ本部として、一般廃棄物収集運搬業許可（ほか、付随するサービスの各種許可）を取得しているだけでなく、身だしなみやマニュアルの徹底など、お客様に安心してサービスを利用いただけるよう努めています。

こうしたサービスを、地元地域だけでなく全国のお客様へ提供しているのが、グループ会社の「株式会社片付け堂」です。全国で同様のサービスを提供するため、各地域の一般廃棄物の収集運搬業の許可を取得している企業とともに事業のフランチャイズ展開をしています。

また、不用品を買取り、リユースする「買取り堂」というショップも運営し、グループ全体として環境にもやさしい事業を行っています。



2. 解体堂

現在日本は少子高齢化、過疎化の影響で全国的に空き家が増加しており、上記の片付けごみと並んで深刻な社会問題となっています。空き家となった家はほとんどの場合、適切に管理されておらず、防災・衛生・景観などの問題が指摘されています。また、台風や大雨などの自然災害により、実家の空き家を中心に近隣住民とのトラブルも増えており、適切な空き家対策が求められています。

当社では各種許可を取得した正規の解体業者として「解体堂」を立ち上げ、空き家の解体やその後の土地活用まで、さまざまな空き家に関するサポートを通じて、「安心してすみ続けられるまちづくり」へ貢献しています。

▼ 解体前



▼ 解体後



4

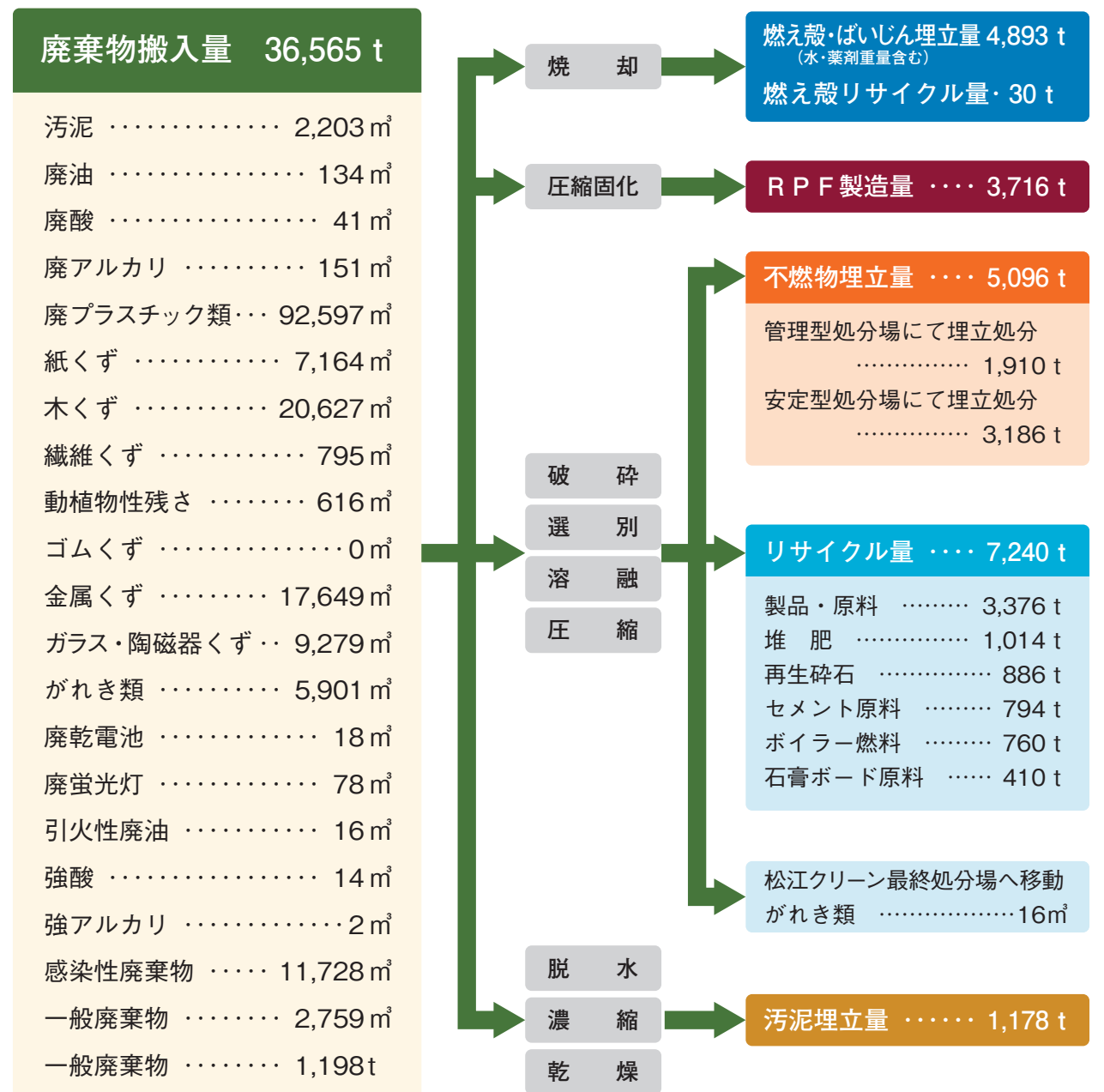
省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会

[持続可能な開発目標]



当社は受入した廃棄物を適正に処理するだけでなく、可能な限りリサイクルしています。選別を徹底することで有用な資源を回収するだけでなく、再生利用製品の新規ルートを開拓し、最終処分場への埋立量を削減するよう努力しています。

1. リサイクル率の推進



2. 環境データ

●リサイクル率

	最終処分率	リサイクル率		最終処分率	リサイクル率
汚泥	100%	0%	金属くず	2%	98%
廃油	100%	0%	ガラスくず等	86%	14%
廃酸	100%	0%	がれき類	90%	10%
廃アルカリ	100%	0%	蛍光灯・乾電池	80%	20%
廃プラスチック類	31%	69%	特別管理産業廃棄物	100%	0%
紙くず	12%	88%	一般廃棄物	0%	100%
木くず	18%	82%	全体	37%	63%
繊維くず	49%	51%			
動植物性残さ	100%	0%			

R2.4.1～R3.3.31までの実績

●排ガス測定結果

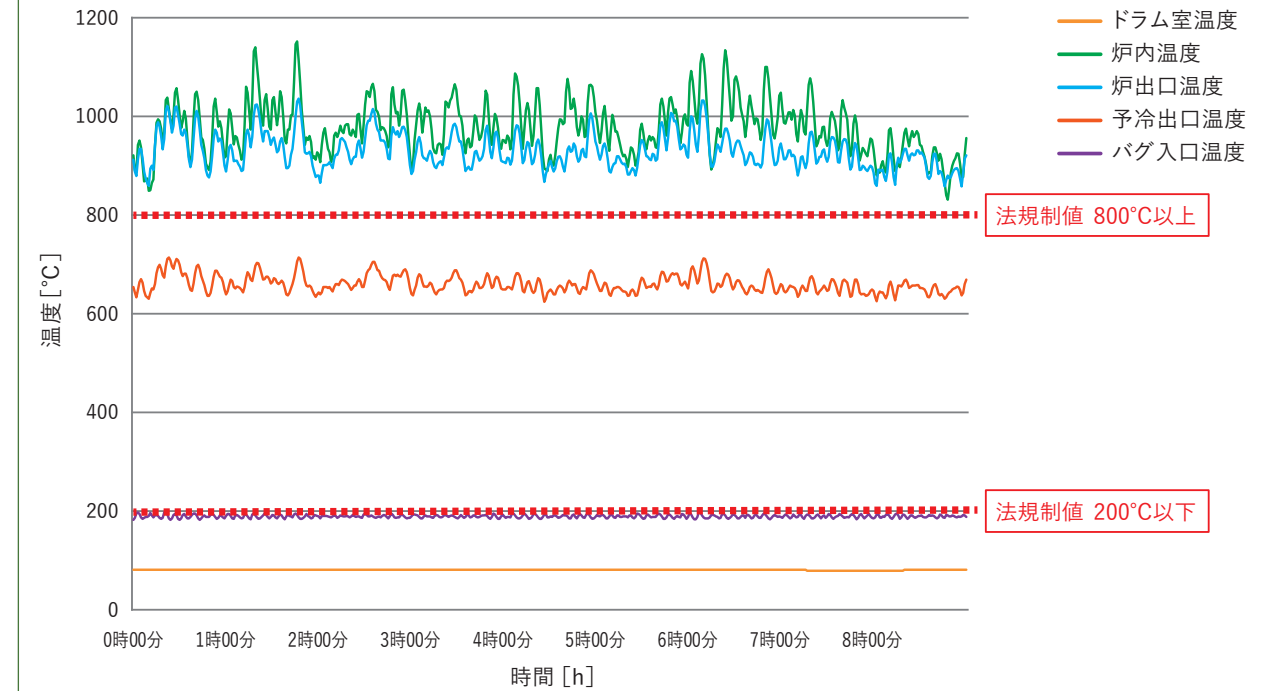
測定項目	測定値		法規制値	単位
	R2.5.29	R2.10.13		
ダイオキシン類	0.210	0.014	1	ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	45	100	700	mg/Nm ³
ばいじん	0.006	0.001	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物	0.090	0.480	27.1 26.9	Nm ³ /h
窒素酸化物	100	150	250	ppm

●燃え殻の分析結果

測定項目	測定値	法規制値	単位
	R2.11.16		
ダイオキシン類	0.64	3	ng-TEQ/Nm ³
カドミウム又はその化合物	不検出	≦0.09	mg/㍑
鉛又はその化合物	不検出	≦0.3	mg/㍑
六価クロム化合物	不検出	≦1.5	mg/㍑
砒素又はその化合物	不検出	≦0.3	mg/㍑
水銀又はその化合物	不検出	検出されないこと	mg/㍑
セレン又はその化合物	不検出	≦0.3	mg/㍑
P C B	不検出	≦0.003	mg/㍑
1,4-ジオキサン	不検出	≦0.5	mg/㍑

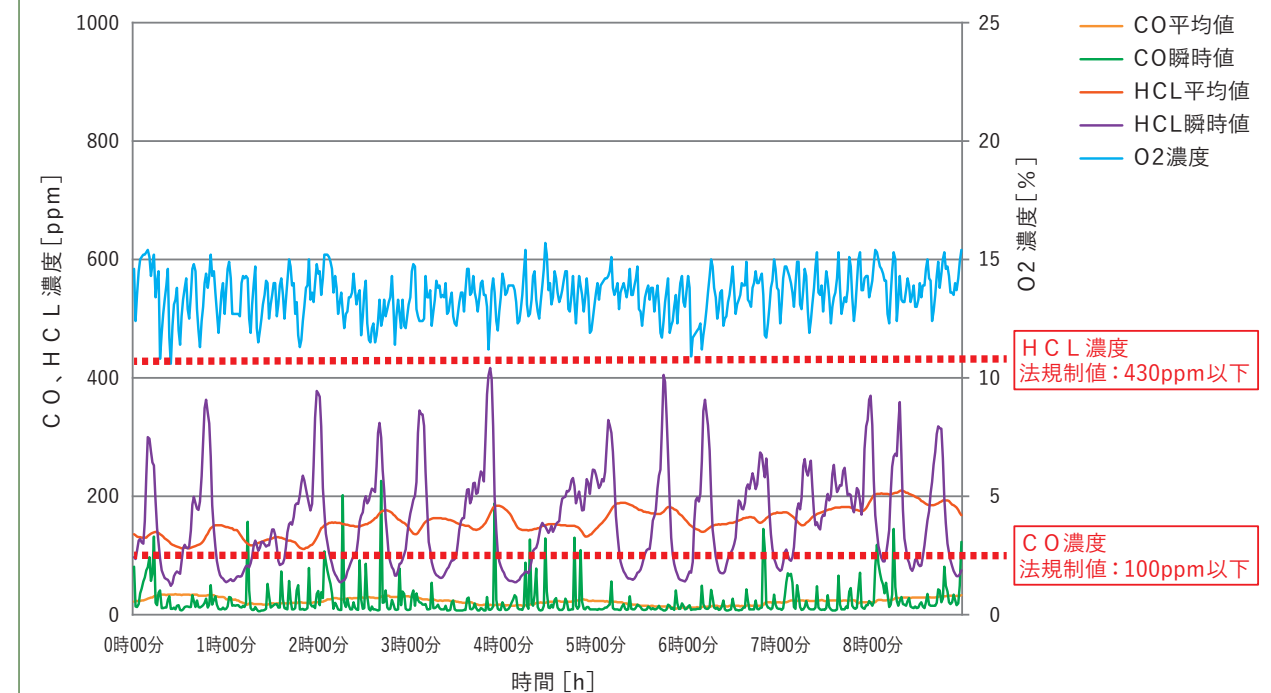
焼却炉温度チャート

R2.11.29



焼却炉CO/HCL濃度チャート

R2.11.29



●排水分析結果

測定項目	測定値		法規制値	単位
	R2.9.15	R2.12.22		
ダイオキシン類	0.017	0.082	3	pg-TEQ/Nm ³

測定項目	測定値	法規制値	単位
	R2.9.15		
カドミウム化合物	N.D.	≦0.03	mg/ℓ
シアン化合物	N.D.	≦1	mg/ℓ
有機燐化合物	N.D.	≦1	mg/ℓ
鉛又はその化合物	N.D.	≦0.1	mg/ℓ
六価クロム化合物	N.D.	≦0.5	mg/ℓ
砒素及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/ℓ
水銀又はその化合物	N.D.	≦0.005	mg/ℓ
アルキル水銀化合物	N.D.	検出されないこと	mg/ℓ
P C B	N.D.	≦0.003	mg/ℓ
トリクロロエチレン	N.D.	≦0.1	mg/ℓ
テトラクロロエチレン	N.D.	≦0.1	mg/ℓ
ジクロロメタン	N.D.	≦0.2	mg/ℓ
四塩化炭素	N.D.	≦0.02	mg/ℓ
1,2-ジクロロエタン	N.D.	≦0.04	mg/ℓ
1,1-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.2	mg/ℓ
1,2-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.4	mg/ℓ
1,1,1-トリクロロエタン	N.D.	≦3	mg/ℓ
1,1,2-トリクロロエタン	N.D.	≦0.06	mg/ℓ
1,3-ジクロロプロペン	N.D.	≦0.02	mg/ℓ
チウラム	N.D.	≦0.06	mg/ℓ
シマジン	N.D.	≦0.03	mg/ℓ
チオベンカルブ	N.D.	≦0.2	mg/ℓ
ベンゼン	N.D.	≦0.1	mg/ℓ
セレン及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/ℓ
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物、硝酸化合物	0.5	≦100	mg/ℓ
ふっ素及びその化合物	N.D.	≦8	mg/ℓ
ほう素化合物	0.02	≦15	mg/ℓ
1,4-ジオキサン	N.D.	≦0.5	mg/ℓ

3. ISO 14001による環境マネジメントシステムの推進

平成13年にISO14001を認証取得し、環境マネジメントシステムの運用を行っています。
令和3年1月20日から22日の3日間にかけて、審査機関の一般財団法人日本品質保証機構（JQA）より、ISO14001の定期審査を受けました。

今回の審査は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の期間中のため、ウェブ会議システム（Zoom）を利用したリモート審査で行いました。リモート審査の場合は、現地が見えにくい点や書面の共有がしにくい点が課題とされていましたが、ライブ映像で工場確認ができる体制が整っていたり、記録類の電子化を進めている当社にとっては、初めてのリモート審査でも滞りなく無事に審査を終えることができました。

重大な不適合事項（改善指摘事項カテゴリーA）や軽微な不適合事項（改善指摘事項カテゴリーB）はなく、グッドポイント1件、改善の機会が4件という結果で、今回の審査範囲において登録証は引き続き適切とご判断をいただきました。

今年で認証取得を受けてから20年となりました。よりよい環境マネジメントシステムの推進のため、今後も引き続き進展を図ってきたいと思います。



▲ Zoomによる審査の様子



	審査の種類	改善指摘事項カテゴリーA	改善指摘事項カテゴリーB	改善の機会	ストロングポイント	グッドポイント
平成29年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	4件
平成30年2月	移行・定期審査	なし	なし	5件	なし	1件
平成31年1月	更新審査	なし	なし	5件	なし	2件
令和2年1月	定期審査	なし	なし	5件	なし	なし
令和3年1月	定期審査	なし	なし	4件	なし	1件

▲ 過去5年間の審査結果

4. 電子化によるペーパーレスの推進

限りある資源の有効利用のためだけでなく、働き方改革や新型コロナウイルス感染症対策によるテレワークの促進のためにも、企業においてペーパーレス化の推進が求められるようになってきました。当社でもペーパーレスの推進のため、様々な取組を行っています。

●発行／受取請求書の電子化

紙での請求書のやりとりは、発行側にとっては発送の手間、受取側としては文書の確認・データ入力の手間と、発行側、受取側ともに大きな負荷となっています。電子化することにより紙資源の削減だけでなく、業務の効率化にも繋がります。当社では一昨年度より、発行／受取請求書の電子化に向けた取り組みを開始しました。当社が受け取る請求書については約70%、お客様に発行する請求書については約65%が電子化しました。

●電子契約書の推進

平成30年10月より、産業廃棄物処理委託契約書を従来の紙面から電子形式における契約締結を推奨しております。電子契約を行うことによって、契約書を必要部数印刷して、製本・押印・郵送・控えを返送してもらうといった面倒な作業と時間を省略することが可能になります。また、紙面での保存ではないため、紛失の心配もありません。

取組の結果、令和元年10月時点で3%だった電子契約率は約30%までアップしました。

●電子manifestの推進

平成30年6月に閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画において、「2022年度の電子manifest普及率を70%にする」との目標が掲げられました。当社における2020年11月時点での普及率は、全国における普及率と並ぶ64%となっております。引き続き今後も電子manifestの推進を行ってまいります。

●FAXを電子データとして受信

●電子押印システムの導入

●Zoom（ビデオ会議システム）導入による会議資料のペーパーレス化

テレワークの導入時、紙媒体だと会議や業務に必要な資料が自宅で閲覧できない、書類に直接押印が必要な場合に承認が進まないといったデメリットの解消にも繋がり、業務改善に大きく貢献しました。



▲ Zoomによるオンライン会議の様子

5. 事務所ごみのリサイクルの推進

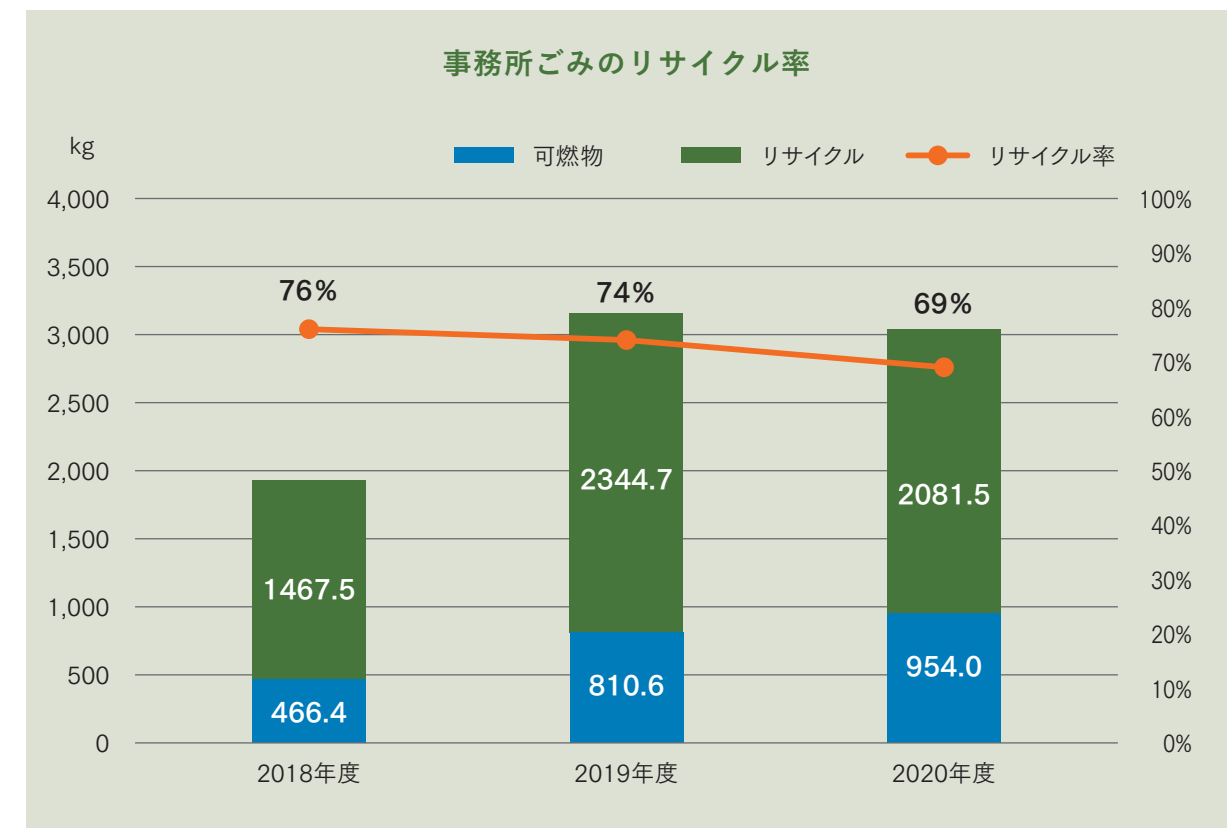
当社では、事務所や現場休憩室から出る廃棄物について、分別を徹底して可能な限りリサイクルを行っています。

本来なら弁当ガラや割りばしなどは綺麗に洗ってリサイクルを行っていますが、そのような飲食に伴って出る廃棄物については、社内での新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、可燃ごみに回すこととしており、その影響を受けて2020年度のリサイクル率は69%と例年に比べ少し低い数値となりました。一方で、機密書類の廃棄量は前年度に比べて約半分になり、ペーパーレス化の取り組みの成果を感じています。

引き続き可能な限り廃棄物の減量やリサイクルを推進していくと共に、コロナ禍の終息後には再度リサイクル率向上を目指して参ります。

◎分別品目（②から⑥はリサイクル）

- ①可燃物
- ②RPF用プラスチック（ビニール、ペットボトル、弁当ガラなど）
- ③RPF用紙くず・木くず（割りばし、紙製容器など）
- ④古紙（封筒、カタログ、機密以外の書類）・ダンボール
- ⑤機密書類（顧客名、金額、個人情報などが記載された書類）
- ⑥缶・ビン・金属



5

生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

[持続可能な開発目標]



持続可能な開発を実現するためには、海洋、海洋資源、陸上資源の持続可能な形での利用を推進する必要があります。生物多様性の恵みを次の世代へ引き継ぐことができるよう、総合的な取り組みをこれからも継続してまいります。

1. 海洋ごみ問題

海に流れ着く漂流・漂着・海底ごみは地球規模の環境問題として近年世界的に高い注目を集めています。当社でも、廃棄物を扱う企業として、海洋保全活動に取り組んでいます。

① 美化活動

当社の接している中海は、平成17年にラムサール条約に登録され、豊かな自然環境の保全に努めるとともに、ごみによる自然との共生を図りながら両湖の賢明な利用に努める必要があります。特に最近注目されているマイクロプラスチック問題については、まずは身近な活動が解決の第一歩と考え、月に一度始業前の時間を利用して職員で会社周辺の清掃活動を行っています。

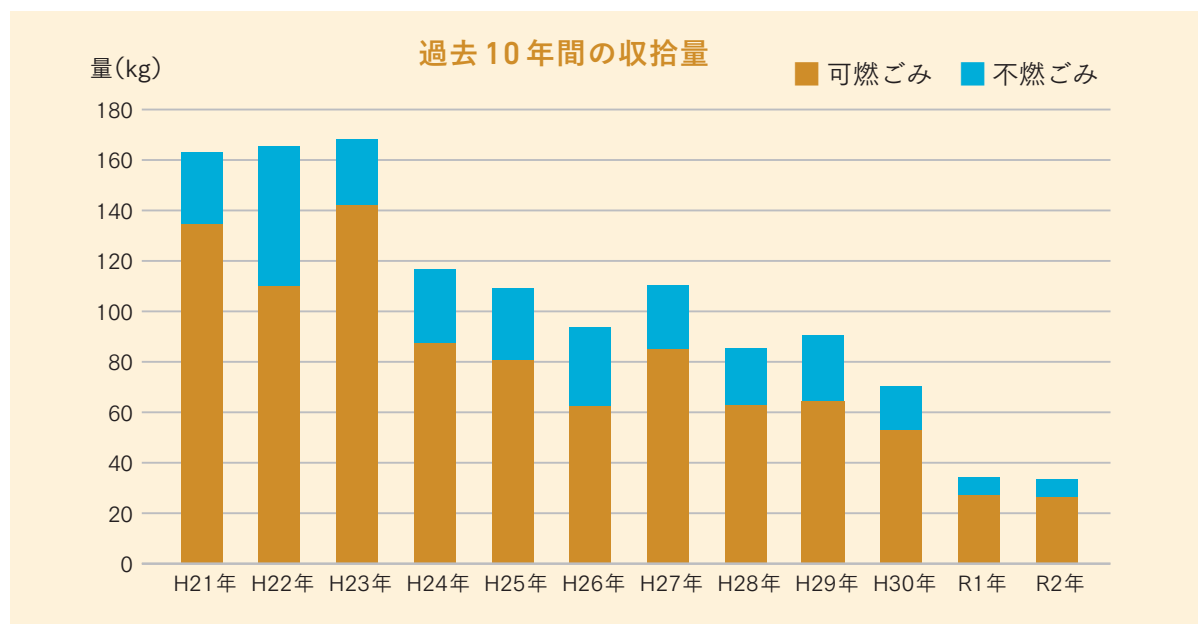
拾得したゴミの量は年々減少の傾向にあり、地域の環境に対する意識が変化している結果であると感じています。



▲ 会社周辺の清掃活動

令和2年度活動実績

活動回数	参加総人数	回収ごみ量
12回	125人	33.38kg



② 海岸漂着廃棄物の処理

島根県は海に面しており、漂着ごみが多く流れ着きます。当社では、湾岸管理より委託を受けた企業様からのご依頼を受け、適正に漂着ごみの運搬・処分を行っています。

海岸漂着廃棄物処理実績

	令和2年4月～令和3年3月	前年度実績
産業廃棄物（当社にて処分）	15,860kg	21,280kg
一般廃棄物（行政処分場にて処分）	29,130kg	3,920kg



2. 不法投棄撤去作業

島根県では、毎年、島根県、島根県警、一般社団法人しまね産業資源循環協会、不法投棄監視モニターなど関係者が連携し、不法投棄防止の県下一斉合同パトロール及び撤去作業を実施しています。当社も、しまね産業資源循環協会の会員として毎年参加しております。

11月17日に実施された県道枕木山線（松江地区）での撤去作業では、タイヤ、タイヤチェーン、農機具、シンク、布団、プラスチックごみ等の不法投棄廃棄物が、全部で12tあり、例年に比べて生活ごみが少なく、大型の廃棄物が多く見られました。



▲ 撤去作業の様子



▲ 回収された廃棄物の一部

3. 環境教育

限りある資源の循環利用と地球環境の保全を推進していくためには、わたしたちのような廃棄物処理業者だけでなく、家庭など廃棄物を排出する側の協力が不可欠になってきます。そのため当社では、平成12年より、未来を担う地元の子供たちを対象に、廃棄物やリサイクルについての知識を身につけていただく「環境教育」という活動を行っています。

内容は、「ごみの分別方法とごみのゆくえ」と題し、家庭から出るごみのサンプルを持参して分別方法を説明したり、分別した廃棄物がどのように処理され、何に生まれ変わるかという流れを、クイズ形式で楽しく学んでいただいています。また、学校にごみ収集車を持って行き、車両の仕組みを説明したり、運転席に乗ってもらったりします。

「家に帰ったら分別をやってみる!!」など嬉しい言葉をもらい、私たちもやりがいを感じています。



▲ 授業の様子



▲ 収集車の乗車体験

令和2年6月24日	母衣小学校	3クラス	79名
令和2年9月10日	竹矢小学校	2クラス	53名
令和2年10月7日	忌部小学校	1クラス	19名
令和2年11月19日	佐太小学校	1クラス	19名

▼ 生徒の皆さんからいただいたお礼のお手紙



アースサポート株式会社

「サステナビリティレポート2021」をお読みいただきありがとうございました。

「サステナビリティレポート2021」の作成にあたり、関係者の皆様方にご助力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。わたしたちは、地域社会、お客様及び社員など、当社を取り巻くさまざまな環境への取り組みを実施するとともに、その情報公開に努めています。地域の皆様をはじめ、一般の方にもわかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、皆様のご意見を参考にして今後もより良い報告書づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

当社のホームページ上にアンケートがございますので、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

URL <https://www.earth-support.jp/company/csr/>

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、QUOカード500円分をプレゼントいたします。

